

# オープンイノベーションプログラムのイメージ



- ✓ “共創パートナー”となる市内中核企業を選定し、実現したい新規事業などのテーマを設定し、市内外のスタートアップ企業から協業案・解決策を募集する
- ✓ 提案されたプランの中から優れた案件 1社程度採択し、共創プロジェクトの事業化を伴走支援。伴走支援期間中は、ビジネス戦略の策定から検証・実証までの一貫したサポートに加え、専門人材による知財等の法務関係のアドバイスを実施する
- ✓ 共創パートナー・スタートアップが互いの技術・アイディアを活用し、双方にメリットがある形で新たなビジネスを創出することを目指す

## 事業スキーム

共創パートナー  
(市内中核企業)  
の選定  
(R5年6月中旬ごろ)

- 市内中核企業から、本プログラムに参加する“共創パートナー”を選定
- 令和5年度は試行的に1社のみ選定

共創テーマの決定  
(R5年6月下旬ごろ)

- 共創パートナーと、コンソーシアム事務局・メンバー、委託事業者で議論し、本プログラムで実現したい“共創テーマ”を決定（例：脱炭素）
- 培ってきた強みや、ビジョンに沿ったテーマを設定
- 市内外のスタートアップ企業から、共創テーマに沿った協業案・解決策を募集（例：CO2可視化事業）
- 優れた案件を1社程度採択し、共創パートナーとスタートアップ企業の“共創プロジェクト”を組成

スタートアップ企業  
(市内外) の募集  
(R5年7月～8月ごろ)

- コンソーシアムメンバーや委託事業者が、ビジネス戦略の策定から検証までを一貫して伴走支援
- 専門人材による知財契約等の法務アドバイスも実施

## プログラムのイメージ

イノベーションコンソーシアム  
全体統括・伴走支援

委託事業者  
伴走支援

共創プロジェクトA：（例）CO2可視化事業の創出

共創パートナー  
(市内中核企業)

技術・アイディア

スタートアップ企業  
(市内外)  
※応募企業のうち  
1社程度を採択

お互いの技術・アイディアを活用し、双方にメリットがある形で  
新たなビジネスを創出

共創プロジェクトB：（例）販売戦略のDX化

次年度以降は複数の共創パートナーを選定し、それぞれで共創プロジェクトを組成する可能性あり